

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター	所管課	みどり自然課
所在地	北杜市大泉町西井出石堂8240-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成6年11月28日
管理方式	指定管理者((財)キープ協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター設置および管理条例		
設置目的	恵み豊かな自然の中で、自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、もって本県の良好な環境の保全と継承に資するため、八ヶ岳自然ふれあいセンターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	展示ホール(207㎡)、特別展示ホール(116㎡)、交流コーナー(28㎡)、視聴覚ホール(196㎡)、自然観察路(W=1.5m、L=1270m)、園地(2018㎡)		
主な業務内容	1. 施設及び設置器具の維持保全 2. 八ヶ岳南麓の自然に関する情報の提供 3. 自然環境に関する知識の習得のための体験学習の機会の提供		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)北杜市オオムラサキセンター:展示室、視聴覚室等
-------------------	----------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	一般来館者数	97,485	96,753	93,144	
	自然体験プログラム・ 講演会参加者数	1,882	2,438	1,895	
	利用者数合計	99,367	99,191	95,039	
	目標値	100,000	100,000	100,000	99,000
	目標値設定の考え方			H18年度 実績人数を目標	H19、H20年度 実績人数を目標
	対19年度比	100.0%	99.8%	95.6%	99.6%
	稼働率				

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	36,900,000	37,000,000	37,000,000	37,000,000
	その他				
	収入合計(A)	36,900,000	37,000,000	37,000,000	37,000,000
支出	人件費	22,281,000	22,450,000	20,727,000	22,450,000
	県への納付金				
	管理運営費	14,619,000	14,650,000	16,294,000	14,660,000
	(うち外部委託費)(B)	3,847,000	4,100,000	3,445,000	4,100,000
	支出合計(C)	36,900,000	37,100,000	37,021,000	37,110,000
収支差額(A-C)		0	-100,000	-21,000	-110,000
外部委託比率(B÷C)		10.4%	11.1%	9.3%	11.0%
利用者一人当りの経費		372	370	389	374

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月～22年3月、実施方法:事業参加者・貸館利用者へのアンケート、回答数:495人
-------	-----------------------------------------------------

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間				
②利用料金				
③展示内容	96%	0%	2%	2%
④設備・備品の状況	65.0%	13.0%	7.0%	15.0%
⑤催物・事業内容	96.0%	0.0%	4.0%	0.0%
⑥職員の接客態度	100%	0%	0%	0%
各項目の平均	89.3%	3.3%	3.3%	4.3%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが臭い ・ミニガイドの拡大版があったらいい。 ・生きた動物を展示してほしい。動物とのふれあいコーナーがあるといい。 ・また「手作りヤマネ」のプログラムをしてほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの臭いは構造上の問題。次年度、消臭剤の導入を検討している。 ・さまざまな体験プログラムを開発することで対応したい。 ・直に自然物に触れられるハンズオン展示を増やしている。 ・ヤマネ作りは人気プログラムなので引き続き実施予定。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	適切に業務が執行されていると考えるが、開館が1994年であり16年経過したこともあり、館内外の施設に老朽化が進んでいる。今後は修繕に対し計画を立て実施していかなければならない。	必要な維持管理・保守点検は計画通り実施している。 防災設備の点検で不備が指摘された事項については、順次改修しているが、利用者の安全確保のため迅速に対応して頂きたい。
運営業務	自然体験プログラム、講演会等、十分に施設としての役割を果たしていると考え一方、入館者が減少している等の課題がある。八ヶ岳南麓、清里地域全体の問題でもあり、この課題には地域としての取り組みも必要である。	運営業務については事業計画に基づき適切に実施しており特段の問題はないが、今後とも魅力あるプログラムの考案や利用者ニーズに沿った実施日程、広報等のさらなる充実を期待する。
自主事業	立ち寄り自由参加型の自然体験プログラムや野鳥を紹介した小冊子等の有料の事業の他、地域の自然愛好家による展示会利用など有効に活用されていると考える。	自主事業内容については利用者から高い評価を得ている。 実施回数は前年度より減少しているが、効率的な実施日程とすることで、職員の負担に配慮しつつ利用者ニーズに対応して頂きたい。
利用状況	入り込み数については、全体的に減少傾向であったが、自然体験プログラムや自然をテーマとした講演会といったイベントについてはニーズがあることが分かった。	実績数は計画を若干下回っているものの、概ね計画を達成しているといえ、特段の問題はない。 今後、環境教育の拠点施設としてより多くの学校団体に利用してもらえるようプログラムの充実等を図っていただきたい。
収支状況	相対的に順調に推移したが、事務消耗品、修繕費、車両費等の経費が増加した。	収支は概ね均衡しており特段の問題はない。 今後も施設の老朽化に伴い修繕費がかかることが予想されるため、計画的な修繕や経費の節減に努めて頂きたい。
利用者満足度	全体的にはプログラム、展示とも評価をいただいていると思う。しかし、認知度の向上、入館者数の増加に向けて工夫をしていかなければならないと考える。また施設の老朽化による不快感を与えないように、計画立てて修繕をしなければならない。	利用者からの評価は概ね高く、全体的に高い満足度が得られている。 利用者からの指摘のうち対応可能なものについては順次対応するなど、利用者の視点に立った運営がなされている。
運営目標の達成状況	概ね目標を達成している。今後とも魅力あるプログラムの考案や利用者ニーズに沿った実施日程、広報等のさらなる充実を期待する。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	総合的に、県が期待するレベルでの実績を上げており、県の求める水準の管理運営が行われていることが確認できた。今後も、利用者数の増加及び利用者満足度の向上に向け、各種プログラムや広報の充実に取り組むことを期待する。また、防災設備の改修については、利用者の安全確保のため迅速に対応すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者のニーズに効率的に対応できるよう、各種プログラムの実施日程を工夫している。 防災設備の改修については、一部実施済みであり、残った部分も既に改修計画にそって発注済みであることを現地確認した。	

7. 管理体制(組織図)



